

NO SHIPPING NO SHOPPING!!

島国である日本に暮らす私たち。

いつも何気なく買っている生活必需品のほとんどは、
実は船で運ばれてくるって知ってましたか？

モノを船で運ぶ「海運」。その船で働く人たちは「船員」と呼ばれます。

船長、航海士、機関長、機関士、SI*1・・・他にもたくさんの職種が協力し合い、
巨大な貨物船を動かして、私たちの暮らしを支えています。

全国には、そんな船員になるためのさまざまな
教育機関があります。

中学校卒業後や高校卒業後など、それぞれの
ライフステージごとにどんな
教育機関があるのかを
ご紹介します。

詳しくは▼



一般社団法人 日本船主協会

www.jsanet.or.jp



「知ってほしい」 船員への道

海への第一歩を踏み出そう！

未来の船員を育む、船員教育機関

中学校卒業後

中学校卒業時点で将来船員を目指す人

**商船系高等
専門学校**
全国に 5 校

船舶職員の養成を行う商船学科と工業系の学科を併せ持ち、商船学科では 5 年 6 か月で三級海技士の資格取得*2 が可能な特色ある高等専門学校です。



海上技術学校
全国に 2 校

専門科目と普通科目を学び、3 年間で高校卒業同等資格を取得、+6 か月で四級海技士の資格取得*2 が可能です。



水産高等学校
全国で 32 校が
船舶職員の養成

将来の水産や海洋関連産業に携わる人材を育成する専門高校であり、船舶職員(五級海技士、四級海技士※)の養成を行う学校もあります。
※船舶職員の養成を行う水産高校における乗船実習 3 か月に加え、五級海技士においては卒業後 1 年 3 か月(合計 1 年 6 か月)、四級海技士においては卒業後 1 年 9 か月(合計 2 年)の乗船履歴で資格取得*2 が可能です。
また、船舶職員の養成を行う水産高校を卒業後に同校の上級課程(専攻科)への進学と併せて 5 年間で三級海技士の資格取得*2 が可能です。



高等学校卒業後

高等学校卒業時点で将来船員を目指す人

商船系大学
全国に 3 校

海事や海上輸送関係の学部設置、次世代を担う海技者の人材養成も行っています。航海・機関両コースは基礎基礎科目・専門的な知識技術を学ぶと共に、乗船実習科進学と併せて 4 年 6 か月で三級海技士の資格取得*2 が可能な特色ある大学です。



▲東京海洋大学
/ 神戸大学



▲東海大学

**海上技術短期
大学校**
全国に 5 校

2 年間で、四級海技士の資格取得*2 が可能です。船長・機関長を目指す専修科と、航海に特化した教育で船長を目指す航海専科があります。



水産系大学
全国で 4 校が
船舶職員の養成

水産業を担う人材の育成を目的としている学科が設置されている他、船舶職員(三級海技士※)の養成を行う学科も併せ持つ特色のある大学です。
※長崎大学・鹿児島大学・東京海洋大学は 4 年 6 か月で、水産大学校は専攻科進学と併せて 5 年間で三級海技士の資格取得*2 が可能です。



▲長崎大学



▲鹿児島大学



▲東京海洋大学



▲水産大学校

大学・高等専門学校卒業後 / 転職

海技大学校
全国に 1 校

海上技術短期大学校卒業後に進学し、2 年間で三級海技士を取得できます。
令和 7 年度から、一般大学等を卒業した方が入学し、2 年 6 か月で三級海技士の資格取得*2 が可能になりました。



三級海技士(含む口述試験) 受有後

外航日本人船員(海技者)確保・育成スキーム(事務局: SECOJ)

日本人の外航船員・SI*1 採用を希望する企業側人事担当者と就職希望者との面談の機会を提供します。合同面談会の形で各企業がブース出展しますので、関心ある複数企業と面談ができます。
就職希望者は面談・選考を経て訓練生として SECOJ へ登録され、外航船員に必要な資格と実務能力を身につけ、就職を目指します。



*1: Superintendent の略語。船を適切に管理し安全かつ効率良い運航を指導・監督する陸上職。
*2: 資格取得には海技士国家試験(筆記試験、身体検査、口述試験)の合格が必要です。上記大学や学校を卒業すると、筆記試験免除で海技士国家試験を受験することができます。